



自十月五日
至十月十一日
溫州澳澳クリク渡河戦

戦
闘
詳
報

歩兵第一五七聯隊第二大隊

川島

0615

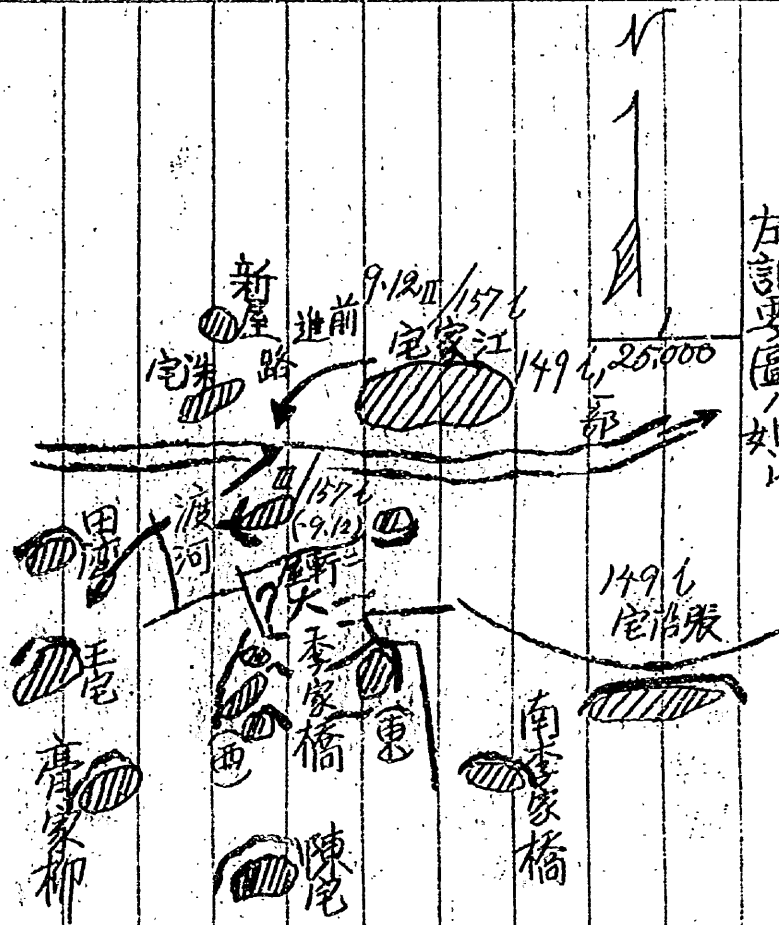
江ノサキ

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0616

一 獸斗前ニ於ケル彼我形勢概要

左記要圖ノ如シ



江家

0617

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0618

二 戦闘ニ影響有リ及ホセシ天候・氣象及戦闘地状態

天候十月六日午後ヨリ降り始メカハ細雨アレトモ連日降り續キ全月十日ニ及フ此カ為泥濘トナリ且ツ水田中ニ雨水滲出シテ増水ニ至リ運動輕快ナラス且ツ壕ノ掘開ニ非常ノ困難ヲ生セリ尚連日ノ冷氣為下痢患者續出シ各中隊共ニ三十名ニ及ヒ若シク戦力ヲ減殺セリ氣象・戦闘地ノ状態・前戦闘時ニ同シ

三 彼我ノ兵力・交戦セル敵兵ノ團隊号

敵ノ兵力 歩兵一大隊ナリモ、如キモ尔後遂次兵力ヲ増加シテ大隊以上トナレルモノ如シ然レテ團機ハ、軽機ハ一〇敵ノ團隊号

第一師補佐 旅第二團 第三營 第八連ヲ混入セルカ如シ

我ノ兵力

第二大隊 (実兵力ハ半減以下ナリ)

第一機南銃中隊 (十時午後三時部隊復歸)

0619

二五二六

平射一分隊(十三日正午破損使用ニ堪ハス)

城射一分隊

工兵二分隊(十二日配属)

四 戦闘經過概要

十月九日夜明朝蘆葦藪中クリークに渡河シ軒家附近に進出スルニ聯隊命令ニ接シ直ニ都糸少尉ヲ命ジ進出路ヲ偵察セシム

十月十日第九第十中隊ニ連繫シ午前五時江家宅ヲ出發ス途申泥輝ト畔道ノ為人行進遲滞シ且ニ連絡ヲ失セトス午前六時五分

二軒家(西部)後方ニ於テ舟ヲ渡河何事故障シ此ヨリ先水隊長ハ第三大隊長許ニ(西部軒家在リ)至リ連絡ヲ取リ敢ハス部隊ヲ東

部ニ軒家附近ニ集結ス但シ第五第七中隊ハ一時新屋ニ位置置セシム

當時第二機関銃中隊ハ先翼隊ニ配属シ現存シテ午前八時第一

六第八中隊長ヲ集メ西部軒家橋ヲ村ニ攻撃命令ヲ與フ

命令

- 一 敵情友軍ノ狀況方一ノ如シ(現地指示)
- 二 聯隊ハ先ツ西部李家橋ヲ奪取シテ後陳宅高家柳南端ノ線ニ進出ス
- 三 二六八(中隊)ノ代リニ八四配屬曲射一山隊ヲ射一分隊附セラルルハ西部李家橋ニ對シ其ノ西南面ニ重点ヲ指向シ得ル如ク坑道ヲ掘進シ一隊ヲ之ヲ攻畧シ引續キ陳宅ヲ攻畧セントス
- 四 第八中隊ハ要圍ノ如ク直ニ坑道作業ニ着手シ攻敵ヲ準備スヘシ
- 五 第六中隊ハ第八中隊ノ後方ニテ坑道作業ヲ推進ヲ援助スヘシ特ニ敵ノ出敵ヲ警戒スヘシ
- 六 第二機関銃ト要圍ノ位置ニ陣地ヲ占領シ敵ノ出敵ヲ對シ射撃準備
- 七 手射曲射ハ西部ニ斬家ニテ待機ノ姿勢ニテ然レ但シ曲射ハ同地ニ於テ陣地偵察
- 八 第五第七中隊ハ豫備隊 新屋附近ニ位置スヘシ
- 九 小行李ハ須臾附近ニ前進

0621

九、予ハ西部一軒家西側堆土アリ

大隊長

下達法 第六第八中隊長ニ口達他ハ書記ヲシテ伝達セシム

理由

1. 戦闘地域ノ關係上東部李家橋ハ中共隊(歩一四九聯隊)ノ攻敵ヲ担任
地域ナリシ上當時該隣接部隊ハホク之ヲ攻界シ得ス

2. 田湾王宅ト西部李家橋トハ其ノ間隔四五百米アリ且ツ其間陣地アリ
3. 西部李家橋西北並西南方面ハ視察ノ結果其ノ北部東側ニ比シ陣地堅
固ナラスト判断セリ

4. クリークヲ利用セバ敵前約二百米近接近シ得且ツ尔後壕ヲ敵線ニ
概ネ平行ニ推進シ得(敵ニ対スル遮蔽程度何ノ方面ニスルモ同一ナリ)

5. 一々中隊ノミヲ最前線ニ出セルハクリークノ利用上該敵ノ不意ニ乗セントスルヲ
両中隊ハ直ニ作業ニ着手シ着手トシテ作業頭ヲ進ム敵ホク我リ企圖ヲ
悟ラスクリーク内ニ於テ不用意ニ身体ヲ表ハセシ兵員ニ三名受傷ス

暮時歩兵各中隊長ヲ作業頭ニ進メ大隊ノ企圖ヲ詳説スルト
 共ニ作業交代ノ要領ヲ指示ス 作業三時間交代トス然レモ
 クリーク内ノ水腰ニ及ヒ交通自在ナラス且ツ水田中ニ留水多ク
 作業進捗意ノ如クナラス 十月五日幹部以下ノ奮励努力ニ
 依リ作業ハ概ネ予定ノ如ク進捗ス交代ノ為多大ノ時間ヲ
 空費スルヲ以テ半日交代トス午後三時平射歩兵砲ニ陣地
 進入ヲ命ジ(東部一軒家西側堆土ニ)東部李家橋北側又西側
 ノ敵重火器ヲ求メテ射撃ヲセシム 敵ノ三三ノ掩蓋銃坐ヲ破
 壊ス敵ハ我企圖ヲ察知セルカ如ク工事ノ増強ヲ開始ス
 二三名ノ負傷ヲ出シタルニ過キス我亦敵ヲ狙撃シ十名内
 外ノ損害ヲ與フ

0623

三ノ七

昭和十二年大坂・坂本城

0624

附表第一 其一

戰鬪詳報 第二號附表

歩兵第五十七聯隊第二大隊 死傷表

備考	合計	機関銃中隊	第八中隊	第七中隊	第六中隊	第五中隊	大隊本部	区分	
								將枝 准士官 下士官 馬	戰鬪參加人馬
	一四 八二五 (六八)	二 七八 一三	三 一六五	一 一四九	一 一六五	一 一六九	六 九九 (六三)	將枝 准士官 下士官 馬	死
	九 (六)	一	二	一	二	三	一 (六)	將枝 准士官 下士官 馬	傷
	二 (三)		六	二	九	五	三 (三)	將枝 准士官 下士官 馬	生死不明
								將枝 准士官 下士官 馬	

20-69

0625

附表第一 其ノ二

戦闘詳報第二號附表

昭和十二年
十月十一日 歩兵第百五十二聯隊第二大隊

考 備	員 数	種 類	
		区 分	種 類
射撃十二名		将校	浮 虜
		准士官 下士官	
		馬匹	
		小銃	戰 利 品
		輕機	
		重機	
		手榴彈	
		実包	

0626

負数	区分		種類	昭和十一年 十月十一日 歩兵第百七師隊第三大隊武器彈藥損耗表
	小銃	彈藥	消費	
三三〇	輕機	機	費	表
三三〇	重機			
二〇一五	手榴彈	武器	損失	
二八二		器		

0627

自九月三日 至十月四日 歩兵第百五十七聯隊第天隊本部編成表

大隊長 歩兵少佐 廣瀬利善

兵科階級	氏名	兵科階級	氏名	兵科階級	氏名
歩兵中尉	小笠原 亮	歩兵中尉	伏野 清男	歩兵中尉	金沢 太郎
歩兵少尉	石田 修	歩兵少尉	小川 善一	歩兵少尉	山口 榮
主計少尉	松崎 省策	主計少尉	池田 久吉	主計少尉	牛取 久夫
軍医少尉	石川 勇三	軍医少尉	岩瀬 茂三郎	軍医少尉	吉田 清三郎
軍医中尉	長谷川 清一	軍医中尉	川名 力蔵	軍医中尉	石井 榮四
軍医少尉	植草 源蔵	軍医少尉	大塚 陸郎	軍医少尉	伊藤 辰雄
歩兵一等兵	比田 政男	歩兵一等兵	川島 繁雄	歩兵一等兵	羽山 要太郎
歩兵二等兵	比田 政男	歩兵二等兵	林 保雄	歩兵二等兵	池田 幾太郎
歩兵三等兵	比田 政男	歩兵三等兵	吉 樹	歩兵三等兵	大根 智衛
歩兵一等兵	坂本 善次	歩兵一等兵	相 京 雄	歩兵一等兵	宇田 正己
歩兵二等兵	坂本 善次	歩兵二等兵	相 京 雄	歩兵二等兵	宇田 正己
歩兵三等兵	坂本 善次	歩兵三等兵	相 京 雄	歩兵三等兵	宇田 正己
歩兵一等兵	飯島 芳三郎	歩兵一等兵	小 高 春 昭	歩兵一等兵	友野 孝治
歩兵二等兵	飯島 芳三郎	歩兵二等兵	小 高 春 昭	歩兵二等兵	友野 孝治
歩兵三等兵	飯島 芳三郎	歩兵三等兵	小 高 春 昭	歩兵三等兵	友野 孝治
歩兵一等兵	飯島 芳三郎	歩兵一等兵	小 高 春 昭	歩兵一等兵	友野 孝治
歩兵二等兵	飯島 芳三郎	歩兵二等兵	小 高 春 昭	歩兵二等兵	友野 孝治
歩兵三等兵	飯島 芳三郎	歩兵三等兵	小 高 春 昭	歩兵三等兵	友野 孝治
歩兵一等兵	飯島 芳三郎	歩兵一等兵	小 高 春 昭	歩兵一等兵	友野 孝治
歩兵二等兵	飯島 芳三郎	歩兵二等兵	小 高 春 昭	歩兵二等兵	友野 孝治
歩兵三等兵	飯島 芳三郎	歩兵三等兵	小 高 春 昭	歩兵三等兵	友野 孝治
歩兵一等兵	飯島 芳三郎	歩兵一等兵	小 高 春 昭	歩兵一等兵	友野 孝治
歩兵二等兵	飯島 芳三郎	歩兵二等兵	小 高 春 昭	歩兵二等兵	友野 孝治
歩兵三等兵	飯島 芳三郎	歩兵三等兵	小 高 春 昭	歩兵三等兵	友野 孝治
歩兵一等兵	飯島 芳三郎	歩兵一等兵	小 高 春 昭	歩兵一等兵	友野 孝治
歩兵二等兵	飯島 芳三郎	歩兵二等兵	小 高 春 昭	歩兵二等兵	友野 孝治
歩兵三等兵	飯島 芳三郎	歩兵三等兵	小 高 春 昭	歩兵三等兵	友野 孝治
歩兵一等兵	飯島 芳三郎	歩兵一等兵	小 高 春 昭	歩兵一等兵	友野 孝治
歩兵二等兵	飯島 芳三郎	歩兵二等兵	小 高 春 昭	歩兵二等兵	友野 孝治
歩兵三等兵	飯島 芳三郎	歩兵三等兵	小 高 春 昭	歩兵三等兵	友野 孝治

備考
赤線ハ戦死 青線ハ戦傷ヲ示ス
氏名ノ左ノ数字ハ戦死傷年月日ヲ示ス

步兵第百五十七聯隊第六中隊編成表

概 尤 岸 地 区 1 年 4 月

中隊長

陸軍歩兵中尉

田口英男

指揮官	准尉 安藤源藏	伍長 石川助三	上等兵 青野善郎	上等兵 石田龜吉	上等兵 永沼正夫
班長	伍長 水野良助	上等兵 吉野喜一	上等兵 平川博治	上等兵 八木魚熊藏	上等兵 古市保
	上等兵 花沢栄	上等兵 上川名武雄	上等兵 上地引平三郎	上等兵 尾崎不二男	上等兵 山本正治
			上等兵 茂木要吉	上等兵 一山村篤	上等兵 一石井守

第一小隊長 少尉 堀内栄

第二小隊長 少尉 藤澤崇

第三小隊長 少尉 藤田正雄

第一隊	第二隊	第三隊	第四隊	第五隊	第六隊	第七隊	第八隊	第九隊	第十隊
上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄
上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄
上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄
上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄
上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄
上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄
上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄
上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄
上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄	上 藤原政雄

備考

八戦死ヲ示入
八戦傷ヲ示入

步兵第百五十七聯隊第七中隊編成表(蕙藻溪より尾岸地區戦闘)

中隊長 伊藤 優

Ⅰ長 吉野知二

Ⅱ長 高橋忠恕

Ⅲ長 秋葉四正

第1分隊	第2分隊	第3分隊	第4分隊	第5分隊	第6分隊	第7分隊	第8分隊	第9分隊	第10分隊	第11分隊	第12分隊	第13分隊	第14分隊	第15分隊	第16分隊	第17分隊	第18分隊	第19分隊	第20分隊
上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G	上杉 龍太郎 L M G
高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G	高橋 忠恕 L M G
伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G	伊藤 優 L M G
吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G	吉野 知二 L M G

備考
 一 本表中「擲」ハ擲彈筒ヲ「丸」ハ瓦斯ヲ「シ」ハ刺入手「兵」ハ兵者係
 「給」ハ給養係「中連」ハ中隊連絡員「小連」ハ小隊連絡員「三小連」ハ
 第三小隊連絡員「各連絡兵」ハ指「指下」ハ中隊指揮班「靴」ハ靴兵「縫」ハ縫工兵「銃」ハ
 銃兵「等」ハ等兵「示」ハ示
 二 米線ヲ附セルハ戦死者 青線ヲ附セルハ負傷者ヲ示ス

自九月二十五日、蓋藤スリ、左岸地區戰闘

中隊長中尉 東平 久雄

○秋葉 正

○今井 春

三浦富信、川折助、小川安治

岩崎一好、秋葉芳則

依藤、助井、國芳、藏、渡、迎、菅

鎌田、秋、依、依、鈴木、秀、郎

高木、重、助、小、原、重、吉、鈴、木、直

桐谷、曲、權、運、藤、市、郎、孝、一

山本、英、次、山、小、柳、三、山、山、恒、助

川、大、助、即、海、原、繁、高、橋、造、司

武、藤、國、雄、根、地、利、雄

比、岡、英、小、野、木、廣、業、坂、庄、郎

内、田、白、權、海、淺、昌、作

舟、米、吉、風、見、幸、栗、原、清

山、崎、大、根、野、孝、三

市、川、正、雄、渡、迎、松、山、下、政

松、崎、恒、三、岩、川、市、松

鈴木、義、信、日、高、辰、郎、海、原、重、吉

高、木、隆、伊、藤、好、松

推、名、義、衛、在、原、今、吉、志、賀、孝、治

本、宮、源、河、湯、沢、元、郎

伊、藤、留、藏、岩、柳、貞、一、千、葉、茂

今、井、完、三、高、梨、富、郎

菅、沢、洋、山、形、光、春、川、島、清、美

中西、一、根、小、泉、火、治

示長少尉 都祭吉衛

菊地文吉

岩崎止一、岩佐、格、治、飯、田、清、英、部、軍、治、成、毛、成、清、田、代、春、次

桐谷、良、郎、山、三、助

大、木、植、土、屋、金、藏、川、上、忠、治

宮、岡、留、吉、市、郎、自、郎

金、杉、信、郎、伊、藤、利、大、早、船、晴、又、村、越、一、郎、多、田、錫、夫

林、忠、吉、相、模、岡、竹、根

秋、原、博、與、田、公、郎、江、原、清、治

鶴、江、能、藏、保、田、重、郎

高、橋、勝、三、岩、佐、格、治、津、廣、瀬、長、郎

神、崎、英、次、早、川、英、郎

石、田、長、松、大、將、倉、吉、大、野、勘、助、中、村、岩、林、中、村、倉、吉

鎌、倉、忠、郎、大、木、俊

伊、藤、庄、作、林、東、吉、市、地、吉、三、藤、山、前、治、山、口、勝、次

三、秋、喜、一、中、辺、仙、光

大、木、操、河、野、方、一、田、丸、三、五、雄、止、井、多、吉、藤、幸、方、吉

根、本、三、郎、市、原、政、治

加、藤、信、一、海、田、万、吉

推、名、義、衛、司、後、園、吉、郎、橋、藏、正、春

井、上、一、男、伊、東、守、一

伊、村、繁、角、田、孝、信

河、内、繁、郎、三、橋、茂、吉

松、丸、文、吉、桜、井、格、吉

秋、山、三、郎、長、谷、川、春、吉

日、向、正、一、佐、岡、市、太、郎

大、塚、栄、吉、節、即、孫、福、司

示長見習官 廣島幸胤

石、志、新、作

小、宮、愛、治、水、内、正、次

大、野、利、郎、山、崎、重、造

小、林、清、次、郎、伊、丹、修

大、槻、信、樹、大、院、徳、治

宮、川、貞、徳、小、川、水、郎

橋、本、平、治、中、岡、田、秀、吉

水、村、格、雄、平、嶋、初、權、渡、多、野、依、一

岩、塚、直、景、高、原、利、春

藤、山、前、治、山、口、勝、次

渡、辺、太、一、内、海、勝、郎

寺、田、利、雄、那、國、力、石、橋、久

高、橋、頼、郎、渡、辺、清

金、子、五、郎、神、子、美、雅

島、由、利、市、夏、目、吉、吉

石、井、恒、吉、細、谷、清、次

山、本、清、一、尾、形、敏

湯、川、七、藏、高、橋、源、次

安、川、岩、吉、御、園、義、郎

高、木、直、治、小、川、武、權、本、宮、敬、司

藤、生、久、治、朝、倉、正、光

宮、崎、次、正、花、鈴、木、勘、花、野、口、米、治

河、名、清、次、郎

備考。印戦死。印戦傷。

左岸地区戦闘

齊藤隊編成表

第一小隊				第二小隊				第三小隊				第四小隊			
隊長 齊藤廣				隊長 齊藤廣				隊長 齊藤廣				隊長 齊藤廣			
隊分一第		隊分二第		隊分一第		隊分二第		隊分一第		隊分二第		隊分一第		隊分二第	
富田 富三郎				保坂 由成				田村 市造				渡邊 辰雄			
1	野平俊明	2	上野 新太郎	1	志田 善一郎	2	高野 真治	1	鏡形 物次郎	2	渡邊 辰雄	1	青藤 一郎	2	高石 保松
3	久古 勇	4	江丸 國夫	3	米井 定治	4	岸山 豊吉	3	浅田 徳	4	平山 忠治	3	前田 保	4	大塚 茂
5	高木 壯男	6	野中 徹夫	5	伊藤 三郎	6	深山 玉郎吉	5	有田 元治郎	6	仲村 芳松	5	小関 誠太郎	6	小関 誠太郎
7	吉野 芳治	8	石毛 忠治	7	加藤 利武	8	山崎 芳郎	7	小川 正	8	清水 準一	7	那司 明男	8	那司 明男
9	石井 興一	10	小澤 清	9	石井 興一	10	小澤 清	9	遠藤 房	10	秋元 増之助	9	三瓶 要治	10	三瓶 要治
11	石井 興一	12	小澤 清	11	石井 興一	12	小澤 清	13	秋元 増之助	14	三瓶 要治	13	三瓶 要治	14	三瓶 要治
馬取 叔兵 田中新作				馬取 叔兵 田中新作				馬取 叔兵 田中新作				馬取 叔兵 田中新作			

日 (印) 鏡田房隆	日 (印) 鏡田房隆	日 (印) 鏡田房隆	日 (印) 鏡田房隆
日 (印) 鏡田房隆	日 (印) 鏡田房隆	日 (印) 鏡田房隆	日 (印) 鏡田房隆
日 (印) 鏡田房隆	日 (印) 鏡田房隆	日 (印) 鏡田房隆	日 (印) 鏡田房隆
日 (印) 鏡田房隆	日 (印) 鏡田房隆	日 (印) 鏡田房隆	日 (印) 鏡田房隆

江~56

和三元 戦傷死

和三元 戦傷死

0633

第二大隊職員表

隊中銃隊換二第		隊中八第		隊中七第		隊中六第		隊中五第		部 本			區分		
小隊長	中隊長	小隊長	中隊長	中隊長代理	中隊長	小隊長	中隊長代理	小隊長	中隊長代理	附軍医	附主計	副官代理	大隊長	職	
尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	階級	
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	
廣瀬利善	三上正男	松崎省策	山崎清春	石田修	越川竹雄	齋藤福松	田口英男	小林四郎	東平久雄	都祭吉衛	廣島幸胤	齋藤廣	中山正	谷川七之助	関谷第吉

指揮班 伍長 宮崎 操

上等兵 高木 金吾

上等兵 吉田 源太郎

蘆藻浜クリークの右岸地區須宅ニ待機中ナリシ當機

関銃中隊ハ十月五日午後七時三十分歩兵第百一聯隊ハ

渡河援護ニ任スヘキ命令ニ接シ直ニ準備ヲ敷ヘ

須宅ヲ出発シ金家宅附近ニ向フテ前進ス

出発ニ先々テ道路偵察並歩兵第百一聯隊本部

ニ連絡、為メ前記三名ヲ斥候トシテ派遣ス

當時暗夜ニシテ未知ノ地形ニガエ戰場ハ各部隊

錯綜シテアリテ其ノ所在ヲ確ムルハ容易ノコトニアラ

ザリシモ斥候長以下一致協力ヨリ廣地域ニ亘ル道

路ヲ偵察シテ十月六日午前一時西部郭祠浜西南方

無名部落ニ於テ步兵第百一聯隊本部ニ連絡ヲ完フ
シテ中隊ヲ誘導以テ所命ノ時機ニ戰鬪加入ス
ヘキ中隊ノ任務ヲ容易トラシメタリ

以上中隊以下ノ行動ハ一竟專念積極的ニ任
務ニ邁進以テ貴務ヲ完全ニ遂行セルモノニシテ其功
績ハ拔群ナリ

二、

第一小隊長 小尉 中山 正

第二小隊長 准尉 谷川 七之助

第一分隊長 伍長 大田 富三郎

第二分隊長 上等兵 保坂 由藏

第三分隊長 伍長 田村 市造

第四分隊長 上等兵 前田 武

ノ十月六日午前四時中隊ハ江家宅南端附近ニ陣地ニ

入ヲナレ主トシテ吳淞クリーク右岸張家宅及小宅
附近敵ヲ射撃シ步兵第百一聯隊第一大隊ノ渡
河ヲ援護ス

本戰厨ニ於ケル小隊長分隊長ノ献身的勇戦ナル
行動ハヨク部下ヲ率テ河岸近クニ進出適切ナル射
撃指揮以テ有効ナル射撃ヲ敵重火器ニ集中シ
二分ニ渡河部隊ノ援護ニ任シ機関銃ノ成果
ヲ遺憾ナク發揚セシメタリ

又十月八日午前八時軍旗及本部隊ノ渡河決行ニ方
リ陣地ヲ金家宅南端附近ニ変更主トシテ對岸
小宅及東部曹宅附近ノ敵ヲ射撃シテ其ノ
渡河ヲ援護ス

當日ハ前日ヨリノ雨降リ續キテ戰場ニ泥濘ト
化シ且渡河ト莫ニ通スル交通壕ハ泥水溢シテ胸

ニ違スル状態ニシテ著シク戦闘行動ヲ阻害セラル
ルニモ拘ラス小隊長分隊長トモニ率先ヨリ悪條件
ヲ克服シテ彈丸兩飛中機宜ニ適スル射撃手
指揮ヲ以テ敵ヲ壓迫軍旗並本部隊ノ渡河ニ有
効適切ナル支援ヲ與ヘタリ

以上ハ隊長ヲ核心トセル一致團結心ト協力ノ精
神ヲ遺憾ナク發揚シタルモノニシテ其ノ功績ハ
拔群ナリ

三

第一分隊射手 上等兵 鈴木 新作

〃 〃 〃 野平 俊明

第二分隊射手 〃 〃 高野 眞治

第三分隊射手 〃 〃 平山 忠治

〃 〃 〃 立原 一郎

0638

第四分隊射手上等兵 大塚 茂

本戦鬪間ニ於ケル右各銃手ハ他兵ニ率先シテ
分隊長ヲ補佐シテ銃位置ノ選定敵状ノ視
察ニ任シテ有利ナル状況ノ報告ヲ行ヒ且射撃ニ方リテ
ハ池着正確ナル射撃ヲ實施シテ敵ヲ壓倒セシメ
ミナラス銃ノ愛護心旺盛ニシテ泥土附着等ニ
依ル機能障碍ニ細心ノ注意ヲ致シ烏ニ本戦
鬪間大ナル故障ヲ發生スルコトナク適時適切ニ射
撃ヲ實施スルコトヲ得テ機関銃本然ノ責務ヲ
完全ニ遂行セシムルコトヲ得タルノ功績ハ拔群
ナリト認ム

四

指揮班

上等兵

林

平治

鈴木

實

右西名ハ本戦鬪間傳令ノ任務ニ服シ敵陣而
飛、間泥濘勝ヲ没スル戰場ヲ馳駆シテ中隊
小隊間ノ連絡ニ又ハ聯隊本部へノ諸報告ニ
奮鬪大ニ努メタリ

特ニ十月九日命令ニ基キ第三小隊ノ揚家宅ニ陣
地変換ヲ爲サントスルヤ進ニテ弁候トテ陣地
進入路、偵察ニ任シ迅速果敢ニ偵察ヲ完了
シテ所命地點ニ誘導小隊ヲシテ機ヲ失セズ渡河
部隊ノ西部曹宅攻撃戦鬪ニ協力セシムルコト
ヲ得タルハ一ニ西上等兵、任務遂行ニ忠實ナル
賜ニシテ其ノ功績ハ拔群ナリト認め

0640